

# 2022年度 事業年報



一般財団法人 芙蓉協会

FUYO ASSOCIATION SEIREI NUMAZU

## 聖隷沼津健康診断センター



# 発刊にあたって

聖隷沼津健康診断センターをご利用いただきましてありがとうございます。

2022年度(令和4年度)も事業報告を発刊、お届けすることができました。

当センターは本年度4月から新システムを導入しスタートしました。新しいシステムに四苦八苦しながらもスタッフ一同、健康診断の質を落とさないよう、今までの当たり前となっていた運用を見直し頑張っていました。

また、世界各国でプライバシー保護を目的とした規制法が制定される中、日本も2022年4月に個人情報保護に関する法律が改正されました。当センターではISMSの拡張規格であるISMS-PIMSが情報管理の質を強化するために最適な仕組みと認識し認証を取得いたしました。認証取得は健診施設として、国内初となります。これにより取り巻く情報社会において取扱っている健康診断情報の重要性を認識し、セキュリティ対策及びプライバシー保護の強化を一步進めることができましたと思います。

これからも皆様に安心・安全に精度の高い健康診断、質の高い保健指導を提供できるように邁進してまいります。

おかげさまで2022年度の総受診者数は126,009人の皆様にご利用いただきました。これからも皆様方のニーズにお応えできるように、地域の皆様にとって身近な場所で、総合的な健康管理の支援を実現すべく、より一層の努力を続けていく所存でございます。

本年報をご高覧いただき、今後とも皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

聖隷沼津第一クリニック  
聖隷沼津健康診断センター  
所長 矢部 雅己

---

## 基本理念

私達は、より精度の高い健康診断と、  
より質の高い保健指導を通して  
地域・企業・健保の皆様が  
心身共にいきいきと過ごすための  
健康づくりを支援します。

---

## 施設運営方針

1. 環境の変化に適応する経営構造の構築と経営の安定化
2. 「連携」による“聖隷”ならではの一体化したサービスの提供
3. 健康経営ブランディング戦略を活かす最高の質による専門サービスの提供
4. 「共に働く仲間」を迎える採用環境の整備と人材育成の推進
5. 地域から必要とされる保健事業の使命の追求

# 目次

発刊にあたって

理念・方針

受診者の権利・受診者の義務	1
個人情報保護方針	2
個人情報の利用目的	3
情報セキュリティ及びプライバシー方針並びに情報セキュリティ及びプライバシー目的	4
沿革	5
事業概要	8
事業計画	10
事業報告	12
組織図	13
職員の状況	14
常設会議・委員会	15
フロアマップ	16
機器精度管理・保守管理	17
外部精度管理結果一覧	19
研修・学会参加状況	20
学会発表抄録	22
健康増進講演メニュー	24
2022年度を振り返って	25

※付録CD（各種健診別集計データ）… 最終ページにあります。

# 受診者の権利・受診者の義務

## 受診者の権利について

### 1. 受診者の知る権利

当施設を利用される方は、健康診査によって得られた検査データの全てについて、その内容を知る権利を持ちます。

### 2. 選択の自由の権利

当施設を利用される方は、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教によって差別されることなく、平等に健康診断を受ける自由と権利を持ちます。

### 3. 自己決定の権利

当施設を利用される方は、医師からの説明を十分に理解した上で、検査や医療行為を受けるかどうかを決定できる権利があります。

### 4. プライバシー保護の権利

私共が健康診査を通して知りえた、利用された方々の全ての検査データは如何なる第三者にも秘密を保持します。

(但し、労働安全衛生法に定められた検査項目と、利用されるご本人の同意を得た検査データは、その限りではありません)

### 5. 助言を受ける権利

当施設を利用される方は、健康診査の結果に応じて医師・保健師・看護師・栄養士・運動トレーナーから、生活習慣・食生活・栄養・運動等の指導・助言を受ける権利をもちます。

## 受診者の義務について

### 1. 情報提供の責務

当施設を利用される方は、医師・医療スタッフに対しご自身の健康に関する情報を正確に知らせる義務があります。

### 2. 遵守の責務

当施設を利用される方は、快適な健診・検査が受けられるよう、当センターの規則並びに医療スタッフの指示を守る義務があります。

### 3. 環境保持の責務

当施設を利用される方は、他の受診者様に対し適切な健診環境が保てるよう、安全性や静寂性の配慮を行う義務があります。

2022年4月1日  
一般財団法人 芙蓉協会  
聖隷沼津第一クリニック  
聖隷沼津健康診断センター  
所長 矢部 雅己

# 個人情報保護方針

当法人では、当法人の医療施設をご利用頂く皆様方に安心して医療を受けて頂くために、安全な医療の提供を第一に考えるとともに、皆様方の個人情報につきましても適切に保護し管理することが重要であると考えています。

そのために当法人では、以下の個人情報保護方針を定め実施します。

## 1. 利用目的に限定した個人情報の収集について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報を収集する場合、健診・診療・看護・介護および皆様方の医療にかかわる範囲で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合は利用目的を予めお知らせし、ご了解を得た上で実施します。ウェブサイトで個人情報を必要とする場合も同様にいたします。

## 2. 個人情報の利用および提供について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報の利用につきましては以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。

- ◎ ご本人の了解を得た場合
- ◎ 個人を識別あるいは特定できない状態に加工<sup>①</sup>して利用する場合
- ◎ 法令等により提供を要求された場合

当法人は、法令の定める場合を除き、ご本人の許可なくその情報を第三者<sup>②</sup>に提供いたしません。

## 3. 個人情報の適正管理について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、個人情報の漏洩・紛失・破壊・改ざんまたは当法人が所有する個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

## 4. 個人情報の確認・修正等について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報について、本人より開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当法人の「診療情報の提供」に従い対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し適切に対応いたします。

## 5. 安全管理措置について

当法人をご利用いただく皆様方の個人情報について、『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン』に準じた法人、各施設が定めた組織的安全管理対策・物理的安全管理対策・技術的安全管理対策・人的安全対策により安全管理措置を行います。

## 6. 該当施設の責任者、所在地と問い合わせの窓口

- ・聖隷沼津病院 院長 伊藤 孝（静岡県沼津市本字松下七反田 902 - 6）
- ・聖隷沼津健康診断センター 所長 矢部 雅己（静岡県沼津市本字下一丁田 895 - 1）
- ・聖隷訪問看護ステーション千本・看護小規模多機能型居宅介護事業所せいれい緑町  
所長 櫻井 悦子（静岡県沼津市本字下一丁田 898 - 1）
- ・法人本部事務局 事務局長 石野 実俊（静岡県沼津市本字下一丁田 898 - 1）

当法人の個人情報保護方針に関してのご質問やお問い合わせは以下の窓口でお受けいたします。

聖隷沼津病院「医事課」、聖隷沼津健康診断センター「事務課」  
在宅事業部（訪問看護・看護小規模事業所）「各所長」 法人「総務課」

## 7. 法令等の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当法人は、個人情報の保護に関する日本の法令、厚生労働省のガイドライン、医学関連分野の関連指針、その他の規範を遵守するとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い、JIS Q 15001 の手順に準じ個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

2022年4月1日  
一般財団法人 芙蓉協会  
理事長 青木 善治

①単に個人名を消し去ることで匿名化するのではなく、あらゆる方法をもってしても個人を特定できない状態にされていること。

②第三者とは、当法人をご利用いただく皆様方および当法人以外をいい、本来の利用目的に該当しない、またご自身によりその個人情報の利用の同意を得られていない団体または個人をさす。

\*この方針は、当法人をご利用いただく皆様方のみならず、当法人職員および当法人と関係のあるすべての個人情報についても上記と同様に扱います。

# 個人情報の利用目的について

## 1. 法人内での利用

1. 利用者の皆様方に提供する医療サービス
2. 医療保険事務
3. 入退院等の病棟管理
4. 会計・経理
5. 医療事故等の報告
6. 利用者の皆様方への医療サービスの向上
7. 法人内医療実習への協力
8. 医療の質の向上を目的とした院内症例研究および統計
9. 精度管理
10. その他、利用者の皆様方に係る管理運営業務

## 2. 法人外への情報提供としての利用

1. 他の病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等との連携
2. 他の医療機関等からの照会への回答
3. 利用者の皆様方の診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
4. 検体検査業務等の業務委託
5. ご家族等への病状説明
6. 保険事務の委託
7. 審査支払機関へのレセプトの提供
8. 審査支払機関または保険者への照会
9. 審査支払機関または保険者からの照会への回答
10. 事業者および上部機関等から委託を受けた健康診断に係る、事業者および上部機関等への報告（結果通知・統計等）
11. 医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出等
12. 精度管理事業への提供
13. 医療の質の向上を目的とした症例研究および統計（個人を識別あるいは特定できない状態に加工した上での学会発表資料等への利用）
14. その他、利用者の皆様方への医療保険事務に関する利用

## 3. その他の利用

1. 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
2. 外部監査機関への情報提供
3. 治験または製造販売後臨床試験に関する調査および支援業務への協力

- 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項、および同意の変更又は撤回事項がある場合には、その旨を担当窓口までお申し出ください。
- お申し出がないものについては、同意していただけるものとして取り扱わせていただきます。

(2022年4月第5回改訂)

# 情報セキュリティ及びプライバシー方針並びに情報セキュリティ及びプライバシー目的

## 1. 情報セキュリティ及びプライバシー方針

聖隷沼津健康診断センター（以下、当センター）は、基本理念として「私たちは、より精度の高い健康診断と、より質の高い保健指導を通して地域住民の方が心身共にいきいきと過ごすための健康づくりを支援します。」を掲げております。

情報処理システムを用いて、個人識別可能情報（PII）の管理・処理を行い、顧客受診者皆さまの健診・人間ドックおよび産業保健・保健指導までの一連のサービス（以下、保健事業という）を提供してまいります。

当センターでは、ご利用される顧客・受診者皆さまの安全・安心及び信頼のもとに保健事業を構築し、安定的継続の確保をしております。そのためには、当センター内の個人識別可能情報（PII）を含む情報資産の重要性、特に個人情報及びプライバシーを深く認識し、その個人識別可能情報（PII）を含む情報資産の利活用と保護の両立が社会的責務であるとの認識のもとに、適切な情報セキュリティ対策を実施していくことが必要不可欠であると考えております。

そして、適切な情報セキュリティ及びプライバシー対策を実施するために情報セキュリティ及びプライバシー対策の包括的な規定として、ここに「情報セキュリティ及びプライバシー方針」を定め、当センターの情報資産を有効に利活用すると共にあらゆる脅威から守る

ために、経営資源を鑑みて必要な情報セキュリティの確保に最大限取り組んでまいります。

また、当センターは、本方針に基づき「プライバシー情報マネジメントシステム」を構築し、これを保健事業に関わる業務を行う全ての者が確実に実施し、これを遵守することにより、情報セキュリティに努めてまいります。

## 2. 情報セキュリティ及びプライバシー目的

当センターは、個人情報保護について、管理体制を徹底し情報のセキュリティと受診者のプライバシー保護の徹底に努めます。

個人情報の利活用においては、個人情報保護方針に則り、実施してまいります。

当センター、各部門において情報セキュリティ及びプライバシー方針に基づき、情報セキュリティ及びプライバシー目的を定め、ISMS - PIMS を実践してまいります。

また、プロセスにおける要求事項、アセスメント、対応結果を考慮し、保健事業サービスに関わる業務を行う全ての者が取り扱う個人識別可能情報（PII）を含む情報資産、特に個人情報が、漏洩、紛失、盗聴、改ざん又は誤用されるように、機密性・完全性・可用性を確保する体系的なリスクアセスメントに基づいた管理策を策定、実施いたします。

## 3. 情報セキュリティ及びプライバシーに関する法令等の遵守

当センターは、保健事業における情報セキュリティ及びプライバシーに適用される法令、各種規範・ガイドラインを特定し、これらを遵守いたします。

## 4. 情報セキュリティ及びプライバシー体制の強化

当センターは、すべての従業員に対し、計画的に教育・研修を実施し、当方針を周知徹底、実施するとともに、「プライバシー情報マネジメントシステム」を継続的に見直し、情報セキュリティ及びプライバシー体制を強化、有効に機能するよう努めます。

2022年10月1日  
聖隷沼津健康診断センター  
所長 矢部雅己

# 沿革

1949	昭和	24年	3月	財団法人芙蓉協会設立登記
1950		25年	7月	財団法人芙蓉病院開設
1957		32年	2月	財団法人緑町病院と名称変更
1975		50年	9月	簡易保険人間ドック検診開始
1976		51年	2月	外来人間ドック検診開始
			4月	日本病院会「短期人間ドック（1泊2日）優良施設」指定
1981		56年	6月	力石 務 初代所長就任
			10月	聖隷沼津病院と名称変更
1986		61年	5月	中央労働災害防止協会健康診断機関名簿登載
			9月	日本総合健診医学会入会
1989	平成	元年	3月	婦人科検診車配備
1991		3年	9月	健康診断センター落成
1992		4年	6月	日本病院会「自動化健診（日帰り）優良施設」指定
1995		7年	3月	胸部 X 線検診車配備
			4月	骨密度測定装置設置
			6月	聖隷沼津第一クリニック開設（健康診断センターの診療所化 許可病床 8 床）
1996		8年	2月	胃部 X 線検診車配備
			4月	積 惟貞 2代目所長就任
1997		9年	4月	胃内視鏡室設置（ドック追加検査として胃内視鏡検査を開始）
1998		10年	4月	脳ドック開始
			4月	胃部 X 線検診車・胸部 X 線検診車 各 1 台増車
			10月	栗原 尚人 初代事務長就任
1999		11年	3月	増築棟落成（アスレチックルーム・各診察室（乳がん検診・子宮がん検診））
			4月	「政府管掌健康保険健診機関」指定
			4月	奥村 一之 3代目所長就任
			10月	中島 容一郎 4代目所長就任
2000		12年	1月	胸部 X 線検診車（直接・間接撮影兼用）配備
2001		13年	3月	福田 崇典 5代目所長就任
2004		16年	4月	力石 務 6代目所長就任
2005		17年	4月	伊藤 孝 7代目所長就任
			4月	飯尾 治利 2代目事務長就任
2006		18年	1月	X 線 TV 装置 2台設置
			3月	マンモグラフィ撮影装置新規導入
			12月	禁煙外来開始
2007		19年	1月	日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定
			4月	新健診システム導入 （1日ドックにおける『リアルタイムドック』方式を開始）
			9月	「臨床研修協力施設」指定
			12月	8 病床返還
2008		20年	3月	自動身長計付体組成計更新
			4月	出張健診用閾値検査用オージオメータ 2台新規導入
			5月	骨塩量測定装置更新
			5月	オージオメーター・オージオボックス機種更新
			9月	伊豆市婦人科出張検診よりマンモグラフィ検診車配備
2009		21年	2月	出張検診用無散瞳眼底カメラ購入
			2月	電子スパイロメーター機種更新
			5月	胸部 X 線一般撮影装置更新 （施設内における「デュアルエネルギーサブトラクション法」による胸部画像撮影・診断を開始）
			6月	全国労働衛生団体連合会「労働衛生サービス機能評価」認定
			9月	庄司産業 1F を健診センター事務所に改修 事務課一部・運営管理課移転
			10月	ジャパン・マンモグラフィーサンデー賛同医療機関として初参加
			12月	健診センター施設内改修（内視鏡室・レディースコーナー・更衣室・アスレチックルーム）

2010	22年	2月 6月 7月 8月	I S M S ( I S O / I E C 27001 : 2005 J I S Q 27001 : 2006) 認証取得 子宮頸がん予防ワクチン接種開始 医用画像配信システム (PACS) 新規導入 胸部・胃部 X 線検診車 (I.I.D.R) 2台増車
2011	23年	1月 1月 2月 3月 4月 5月 7月 8月 8月 10月	電子内視鏡システム 1台機種更新 無散瞳眼底カメラ更新 日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定更新 P E T - C T ドック開始 (国際医療福祉大学熱海病院と提携) 及川 直之 3代目事務長就任 M R I 撮影装置 (1.5 T) 更新 (聖隷沼津病院) ※脳検査時使用 出張健診用閾値検査用オージオメータ 2台新規導入 検診車新駐車場完成 胸部 X 線検診車 1台増車 出張健診用心電計 1台増設
2012	24年	2月 3月 3月 3月 3月 9月 10月 11月	全国労働衛生団体連合会「労働衛生サービス機能評価」認定更新 伊藤 孝 センター長就任 矢部 雅己 8代目所長就任 超音波診断装置 1台更新 出張健診用超音波診断装置 2台新規購入 特定保健指導品質管理マニュアル運用開始 胸部検診車 2台デジタル化 出張健診用心電図解析装置 1台新規購入
2013	25年	1月 2月 4月 5月 7月 12月 12月	I S M S ( I S O / I E C 27001 : 2005 J I S Q 27001 : 2006) 認証更新 電子内視鏡システム 1台機種更新 一般財団法人へ移行「一般財団法人 芙蓉協会」に名称変更 超音波診断装置 1台更新 胸部検診車 1台デジタル化 (胸部検診車全車両デジタル化完了) 超音波診断装置 1台更新 超音波診断装置 (婦人科用) 1台更新
2014	26年	1月 1月 1月 6月	部門システム更新 (W i n d o w s 7 対応) 画像システム更新 心電図システム更新 婦人科検診車 (子宮がん検診) 新規導入
2015	27年	2月 3月 4月 4月 6月 12月	I S M S ( I S O / I E C 27001 : 2013 J I S Q 27001 : 2014) 移行再認証取得 超音波診断装置 1台更新 健診センター施設内2F改修 (胃部 X 線装置増設・マンモグラフィ装置移設・診察検査室増設・読影室) 胃部 X 線装置 (施設内) 1台増設 (3台体制運用開始) 自動採血管準備装置 (施設内) 機種更新 ストレスチェック制度開始
2016	28年	1月 2月 3月 4月 4月 4月 4月 8月	産業医学振興財団 職域健康診断実施機関認定取得 日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定更新 出張健診用心電図解析装置 1台更新 笠原 典彦 4代目事務長就任 聖隷保健事業部とサーバー共同利用によるデータの一元管理 健診センター施設内3F改修 (区域分け・配置再編成) 胃部 X 線装置 (施設内) 内視鏡改修 住民胃がん検診内視鏡検査開始
2017	29年	2月 3月 3月 12月 12月 12月	健康経営優良法人2017～ホワイト500 (大規模法人部門) ～ 認定 出張健診用心電図解析装置 1台更新 J K A 補助事業により胃胸部併用デジタル検診車 1台増車 施設内健診用心電図解析装置 1台更新 出張健診用心電図解析装置 1台更新 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」認証取得

2018	30年	1月 2月 2月 3月 3月 3月 3月 5月 6月 10月 12月	ISMS (ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014) 認証更新 全国労働衛生団体連合会「労働衛生サービス機能評価」認定更新 健康経営優良法人2018～ホワイト500 (大規模法人部門) ～ 二年連続認定 医用画像配信システム (PACS) 更新 内視鏡ファイリングシステム更新 血圧脈波検査装置 更新 超音波診断装置 1台更新 電子内視鏡システム 1台機種増設 (3台体制) 日本産業衛生学会 研修協力施設認定 ノンコンタクトトノメーター 更新 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」認証取得
2019	令和元年	9月 12月	出張検診用超音波装置 2台更新 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」認証取得
2020	2年	2月 3月 4月 4月 12月	JKA補助事業により胸部X線デジタル検診車 1台増車 健康経営優良法人2020～ホワイト500 (大規模法人部門) ～ 認定 多目的検診車 1台導入 施設内用空気清浄機 6台導入 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」認証取得
2021	3年	1月 1月 3月 3月 3月 3月 4月 8月	産業医学振興財団 職域健康診断実施機関認定更新 ISMS (ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014) 認証更新 健康経営優良法人2021～ホワイト500 (大規模法人部門) ～ 二年連続認定 画像統合ファイリングシステムのソフト+ハード 更新 心電図ファイリングシステムのハード 更新 施設内用超音波診断装置 (日立ARETTA750VE) 1台更新 産業医科大学 専門の産業医実地研修育成研修機関認定 骨密度装置更新
2022	4年	1月 3月 4月 4月 5月 7月	スポーツ庁「スポーツエールカンパニー2022」認証取得 健康経営優良法人2022～ホワイト500 (大規模法人部門) ～ 三年連続認定 新健診システム導入 マンモグラフィ撮影装置更新 マンモグラフィ58号車検診車 マンモグラフィ撮影装置更新 自動血圧計 3台導入
2023	5年	2月 2月 2月 3月 3月 3月 3月 3月	スポーツ庁「スポーツエールカンパニーブロンズ2023」認証取得 ISMS (ISO/IEC27001:2013 JIS Q27001:2014) 認証更新 ISMS-PIMS (ISO/IEC 27701:2019) 拡張審査認証取得 健康経営優良法人2023～ホワイト500 (大規模法人部門) ～ 四年連続認定 日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定更新 施設内用検診着 更新 施設内用受診者待合椅子 更新 呼吸機能検査装置 更新

# 事業概要

## 名称

一般財団法人芙蓉協会 聖隷沼津第一クリニック 聖隷沼津健康診断センター

## 所在地

〒410-8580 静岡県沼津市本字下一丁田895-1

電話：055(962)9882 / FAX：055(952)1019

## 認定・指定

日本人間ドック学会

【人間ドック健診施設機能評価認定施設《認定番号140》】(2022.4.1～2027.3.31)

【人間ドック健診専門医研修施設《認定番号235》】(2020.4.1～2025.3.31)

全国労働衛生団体連合会

【労働衛生サービス機能評価認定施設《認定番号 第145号》】(2018.6.1～2022.5.31)

【労働衛生サービス機能評価認定施設《認定番号 第145号》】(2022.6.1～2025.5.31)

情報セキュリティマネジメントシステム

【JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC27001:2013) 認証取得】(2021.2.24～2024.3.23)

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会

【マンモグラフィ検診施設画像認定施設《第8256号》】(2020.8.1～2023.7.31)

産業医学振興財団

【産業医科大学医学部修学資金貸与規則に係る職域健康診断実施機関】(2021.1.1～2026.3.31)

中央労働災害防止協会

【安全衛生サービス(特殊健康診断等)名簿登載機関《登載番号41-22-09》】

産業医科大学

【産業医科大学・労働衛生機関パートナーシップ専門的産業医実地研修機関《第1号》】

(2021.4.1～2023.3.31)

全国健康保険協会管掌健康保険【生活習慣病予防健診事業委託機関】

保険医療機関指定《機関コード2211110438》

特定健康診査・特定保健指導機関指定《機関コード2211110438》

労災保険二次健診等給付医療機関《機関コード2231069》

全国労働衛生団体連合会総合精度管理事業参加機関《機関コード22006》

臨床研修協力施設《施設番号076538》

健康経営優良法人2022 ホワイト500(大規模法人部門)認定(2022.3.9～2023.3.31)

スポーツエールカンパニー2022 ブロンズ認定(スポーツ庁)

《認定番号2022473》(有効期限2022.12.31)

スポーツエールカンパニー2023 ブロンズ認定(スポーツ庁)

《認定番号2023605》(有効期限2023.12.31)

## 事業内容

1日人間ドック・2日人間ドック・脳ドック・PET-CTドック  
一般健診（生活習慣病健診・定期健康診断・雇入時の健康診断・特殊健康診断 他）  
婦人科検診・各種がん検診（市町村・事業所 他）

## 施設

健診センター：延床面積（鉄筋コンクリート 3階建）1672.81 m<sup>2</sup>  
庄司事務所：延床面積（鉄骨造）142.86 m<sup>2</sup>

## 検診車

胸部検診車4台 胃部・胸部検診車3台 婦人科検診車1台  
マンモグラフィ検診車1台 多目的検診車1台

# 2022年度 聖隷沼津健康診断センター 事業計画

2021年度は、新型コロナウイルス感染症により生活様式が変化し、感染症予防対策が常態化した。かつて経験したことが無いリスクの中、対策立案・実施による有効性の評価を行い、事業を継続発展させた。コロナ禍での新たなスタイルは、ほぼ確立できたと認識している。

2022年度は、保健事業本来のあるべき姿、早期発見、生活習慣の改善などに力点を戻していく。中長期計画の2年目にあたり、「経営構造改革」を行っていく。健康経営ブランディング戦略を共有し、Win&Winの関係性を企業・健保様と構築を行っていく。「健康経営のパートナー」として誰もが長く活躍できる社会へ貢献を行う。また高齢者に対する保健事業を新たなマーケットとし、シード（種）からニーズ（期待）・ウォンツ（要望）を自ら構築し、そのカテゴリに対して積極的なアクションを起こしていく。そのためには、新規事業・オプションを構築運用していく。引き続き、地域から必要とされる保健事業の使命の追求を推進する。産業医科大学との連携による専門的産業医実地研修機関の事業も本格稼働する。

聖隷沼津病院、聖隷保健事業部、聖隷富士病院との連携を強化し、「健康経営の推進」と「健診の質」を積極的に展開し、芙蓉協会としての特色を活かし地域・企業・健保の皆様へ「聖隷らしいサービス」を提供し、更なる信頼関係を築き静岡県東部地区での更なる優位性を確立していく。

これらの実現に向けて、職員一丸となって先見力・突破力・実行力・達成力のある組織を構築し、保健事業の未来像を描いていく。

## 【理念】

「私たちは、より精度の高い健康診断と、より質の高い保健指導を通して  
地域・企業・健保の皆様が心身共にいきいきと過ごすための健康づくりを支援します。」

## 【スローガン】

「私たちは、地域・企業・健保の皆様の健康経営のパートナーです。」

## 【運営方針】

1. 環境の変化に適応する経営構造の構築と経営の安定化
2. 「連携」による"聖隷"ならではの一体化したサービスの提供
3. 健康経営ブランディング戦略を活かす最高の質による専門サービスの提供
4. 「共に働く仲間」を迎える採用環境の整備と人材育成の推進
5. 地域から必要とされる保健事業の使命の追求

## 【事業計画】

1. 環境の変化に適応する経営構造の構築と経営の安定化
  - 1-1 迅速な対応力、高い専門知識力を活かせる指揮命令系統と業務分掌を明確にした組織構築
  - 1-2 施設内・外共に、午後の有効活用強化による増収
  - 1-3 顧客分析に基づく契約内容の見直しによる収益増
  - 1-4 人間ドック・一般健診及び内視鏡予約枠の柔軟な対応
  - 1-5 積極的営業により、出張健診の拡大
  - 1-6 健康経営の推進によるワークエンゲイジメントの向上
2. 「連携」による"聖隷"ならではの一体化したサービスの提供
  - 2-1 聖隷沼津病院との更なる連携・紹介体制の強化
  - 2-2 聖隷保健事業部、聖隷富士病院との連携（人・物・データ・画像）を強化し、更なる優位性の確保
  - 2-3 地域企業との連携による新しいプランの構築
  - 2-4 産業医科大学との連携による専門的産業医実地研修機関の確立

3. 健康経営ブランディング戦略を活かす最高の質による専門サービスの提供
  - 3-1 健康経営の推進・健康寿命の延伸に向けた事後支援体制の確立
  - 3-2 地域企業に対する産業保健活動を推進し、健康経営のパートナーとしての体制の構築
  - 3-3 利用者様の目線に立った質の高い健診サービスの提供
  - 3-4 ニーズにあった新規オプションの検討及び運用開始
  
4. 「共に働く仲間」を迎える採用環境の整備と人材育成の推進
  - 4-1 医師確保に向けてリクルート活動の強化
  - 4-2 職員の能力（ライセンス・力量）を効果的に活用するための人材育成と教育体制の充実
  - 4-3 各課OJTを含めた教育プログラムの更なる強化
  - 4-4 専門性を高めるため外部研修・学会等へ積極的に参加、専門資格取得を支援
  - 4-5 ワークライフバランスの推進、働きやすい環境づくりによる働き方改革制度への対応
  - 4-6 健康経営を推進し、スマートライフプロジェクト・がん対策推進企業アクションの活動による職員の健康管理（人間ドック・精密検査受診率 100%、残業時間短縮）
  
5. 地域から必要とされる保健事業の使命の追求
  - 5-1 第三者機能評価認定（ホワイト 500、ISMS、人間ドック・健診施設機能評価、労働衛生サービス機能評価、専門的産業医実地研修機関等）を活用し、顧客からの信頼向上の構築
  - 5-2 IT・組織の有効活用による PHR 等のデータの利活用と保護の両立
  - 5-3 IA レポートの情報共有及び分析によるリスクマネジメントの強化
  - 5-4 コンプライアンス経営の推進による安全で安心して働ける職場環境構築
  - 5-5 業務の効率化を図り省資源・省エネルギー（紙・電気・ガス等）の実践
  - 5-6 リサイクルを推進し廃棄物の削減を図り環境保全の実践

【経営目標】

総収益	1,602,000 千円
年間延受診者数	133,437 人
1人あたり単価	12,000 円
平均職員数（正職員・準職員）	109 名

<内訳>

施設内	受診者数	施設外	受診者数
人間ドック	12,300 人		
一般健診	41,010 人	一般健診	32,520 人
婦人科健診	18,140 人	婦人科健診	9,030 人
外来	4,140 人		
その他	12,690 人	その他	3,610 人
計	88,280 人	計	45,160 人

施設内収益計 1,254,000 千円

施設外収益計 348,000 千円

## 2022年度 聖隷沼津健康診断センター 事業報告

2022年度は、中長期計画の2年目にあたり、コロナ禍での環境の変化に適応した経営構造の構築と経営の安定化のための仕組みの再点検を行う年になるはずだったが、新健診システムの稼働不良により結果処理の大幅遅延という経営危機に見舞われた。そのため、センター全体で業務の再構築を行い、この経営危機に対応し、通常通りの経営状態へ復帰させた。コロナ禍と結果大幅遅延の危機を乗り越えたことで、顧客との信頼関係が更に強まった年であった。経営危機の回避にすべての機能能力を費やさなければならない中、医業収益での予算達成はかなり厳しいものだった。しかしながら当期純利益で、予算を上回ることができた。これも信頼関係を培ってきた健保・企業・地域の皆様の心強い後押しと職員の方の周知の結集が掴み取った成果と確信している。

健康経営優良法人制度では、『ホワイト500 2023』を認定取得し、2017年から連続で500位内を維持している。また『スポーツエールカンパニー 2023 ブロンズ』を認定取得し「健康経営ブランディング」戦略でのフラッグシップを示すことができている。情報管理の保護と利活用においても、『ISMS-PIMS』を医療保健業界では国内初となる認証取得することができた。

2023年度は、健康経営ブランディング戦略を更に推し進めて、企業・健保様から保健事業は、「費用ではなく投資である。」と意識して頂ける年にしていく。投資の結果としての成果にコミットしていく。すなわち事後管理の充実、特に要精検受診率、特定保健指導の実施率、改善率の向上に大きく力点を持っていく。「成果が見える！成果が感じられる！成果が伝わる！健康経営のパートナー！」として誰もが長く活躍できる社会への貢献を行い、引き続き健康経営ブランディング戦略を推し進めていく。中長期計画で立案した環境の変化に適応する経営構造の構築と経営の安定化を進め、地域から必要とされる保健事業の使命の追求を推進する。

	前年実績	予算	実績	対予算差	対前年差
施設内受診者数 (人)	83,699	84,137	80,545	-3,592	-3,154
施設外受診者数 (人)	50,556	45,160	41,984	-3,176	-8,572
外来受診者数 (人)	4,305	4,140	3,480	-660	-825
単価 (円)	11,979	12,000	12,632	632	653

行事内容	実施日
教育「健康経営の推進 2022」	4月6日
教育「検体検査の取り扱い、遠心分離方法について」	7月1日
緊急連絡網（安否確認システム）訓練	7月28日
教育「ISMS-PIMS 拡張の理解」	10月3日
ジャパン・マンモグラフィ・サウンデー	10月16日
地震（津波）想定防災訓練	11月18日
感染対策「手指衛生」セミナー	12月1日
教育「ISMS 研修 2022」	1月6日
ISMS (ISO/IES 27001:2013) 維持審査	1月10日～11日
安全運転講習	1月26日
ISMS-PIMS (ISO/IES 27701:2019) 拡張審査	2月2日～3日
教育「マーケティング研修」	3月22日
火災想定防災訓練	3月25日
日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」更新審査	3月27日



# 職員の状況（職種別職員数）

2022年4月1日現在

	雇用形態	人数	小計	備考	
医 務 課	常勤（正職員）	13人	33人	人間ドック専門医	5人
	非常勤（準職員）	2人		日本医師会認定産業医	10人
	アルバイト	18人		マンモグラフィ読影認定医	11人
				日本内科学会	1人
				日本外科学会	3人
				日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	1人
				日本周産期・新生児医学会	1人
				日本循環器学会 循環器専門医	1人
				日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	1人
				日本透析医学会 透析専門医	1人
				日本消化器外科学会 消化器外科専門医	1人
				日本消化器病学会 消化器病専門医	1人
				日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	1人
				日本内科学会 総合内科専門医	1人
				人間ドックアドバイザー	1人
				労働衛生コンサルタント	3人
健康支援課	常勤（正職員）	34人	42人	保健師 ※看護職は再掲	23人
	常勤（準職員）	3人		看護師（准看護師含む） ※保健師は再掲	39人
	非常勤（派遣）	4人		管理栄養士	2人
	アルバイト	1人		健康運動指導士	2人
				第一種衛生管理者	13人
				人間ドックアドバイザー	5人
				産業カウンセラー	1人
				内視鏡技師	6人
				糖尿病療養指導士	1人
検 査 課	常勤（正職員）	33人	39人	超音波認定技師 （消化器・循環器・泌尿器・体表臓器・健診）	10人
	非常勤（準職員）	4人		QMS審査員補	1人
	非常勤（委託）	2人		心電図検定（2級）	2人
				乳房超音波検査講習会認定技師	5人
				第一種衛生管理者	1人
				ピンクリボンアドバイザー（初級）	1人
放 射 線 課	常勤（正職員）	7人	12人	胃がん検診専門技師	4人
	委託	5人		マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	2人
				第一種衛生管理者	1人
運 営 管 理 課	常勤（正職員）	13人	16人	第一種衛生管理者	3人
	非常勤（派遣）	3人		大型自動車免許	10人
				ピンクリボンアドバイザー（初級）	1人
営 業 契 約 予 約 課	常勤（正職員）	6人	20人	第一種衛生管理者	5人
	常勤（準職員）	5人		ピンクリボンアドバイザー（初級）	1人
	非常勤（派遣）	4人			
	アルバイト	5人			
事 務 課	常勤（正職員）	3人	13人	第一種衛生管理者	2人
	常勤（準職員）	4人		大型自動車免許	1人
	非常勤（派遣）	6人			
情 報 処 理 請 求 課	常勤（正職員）	9人	13人	第一種衛生管理者	1人
	常勤（準職員）	1人			
	非常勤（派遣）	3人			
医 療 産 業 保 健 推 進 連 携 室	常勤（正職員）	2人	3人	I SMS 審査員	1人
	常勤（準職員）	1人		I SMS クラウドセキュリティ審査員	1人
				第一種衛生管理者	1人
				健康経営エキスパートアドバイザー	1人
				人間ドック健診施設機能評価委員会サーベーター	1人
合計		191人			

# 2022年度 聖隷沼津健康診断センター常設会議・委員会

下表のとおり、各種委員会委員を任命します。

2022年5月1日付  
聖隷沼津健康診断センター  
所長 矢部 雅己

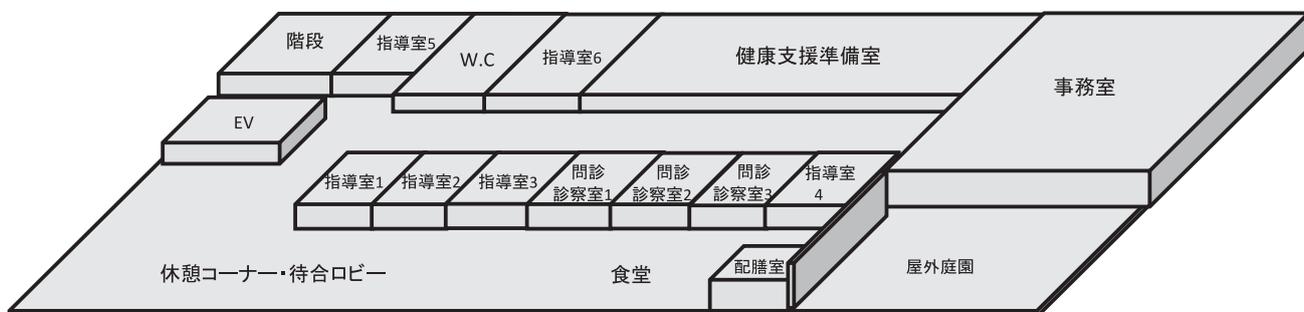
常設会議	開催日	出席者(◎司会△事務局)
管理会議	第3火曜日 16:00~	◎ 矢部 雅己 ○ 笠原 典彦 △ 川 直之 伊 藤 孝 芹 澤 洋 輔 伊 藤 剛 久 保 田 浩 之 稲 生 喜 美 明 羽 切 政 仁 高 木 順 子 渡 邊 雅 康 坪 内 秀 生 山 崎 洋 和 山 岸 薫
施設外検診運営会議	第1金曜日 16:00~	◎ 久 保 田 浩 之 ○ 加 藤 千 佳 子 △ 三 浦 誠 △ 上 原 省 三 △ 秋 山 守 山 岸 薫 大 橋 菜 里 奈 畔 柳 美 音 松 本 芳 幸 渡 邊 智 恵 松 田 久 美 福 島 健 太 岩 谷 卓 哉 有 貝 里 菜 毛 呂 文 江 鈴 木 香 葉 黒 崎 唯 佐 野 充 荒 井 春 香 松 尾 直 弥 千 頭 和 い づ み
		①施設外健診の効率的運営の企画・実施 ②受診サービス向上の企画・実施 ③健診予定の連絡
連絡会	開催日	出席者(◎司会△事務局)
全体連絡会	毎月1日(土除く) 16:00~	全員
医局連絡会議	第4木曜日 15:00~	医局員 全員
課長連絡会	第2月曜日 16:00~	◎ 笠原 典彦 △ 及 川 直之 伊 藤 剛 羽 切 政 仁 久 保 田 浩 之 稲 生 喜 美 明 高 木 順 子 渡 邊 雅 康 坪 内 秀 生 山 崎 洋 和 山 岸 薫
		①管理会議検討事項事前検証 ②各委員会からの上申事項内容検討対応
営業情報連絡会	第4木曜日 16:00~	◎ 笠原 典彦 ○ 伊 藤 剛 △ 岩 瀬 雅 美 及 川 直之 羽 切 政 仁 久 保 田 浩 之 稲 生 喜 美 明 高 木 順 子 渡 邊 雅 康 坪 内 秀 生 山 岸 薫 山 崎 洋 和 佐 藤 典 子
		①施設内外の健診・指導等の実施・予約状況報告 ②新規契約団体・新規事業の企画 ③健診実施状況に対する傾向と対策 ④受診者リピーター率の報告・対策
委員会名	開催日	委員構成(◎委員長○副委員長△事務局)
倫理委員会	第3火曜日 16:00~	◎ 矢部 雅己 ○ 芹 澤 洋 輔 △ 及 川 直之 伊 藤 孝 笠原 典彦 尼子 良久 飯尾 治利 (久保田 浩之) (伊 藤 剛) (稲 生 喜 美 明) (羽 切 政 仁) (高 木 順 子) (渡 邊 雅 康) (坪 内 秀 生) (山 崎 洋 和) (山 岸 薫)
		①本クリニックにおける医の倫理に関わる事項を総合的に検討 ②法人全体に関わる倫理事項については、当協会の倫理委員会へ答申する内容を検討
防災委員会 (消防法 第8条)	第2火曜日 16:00~	◎ 矢部 雅己 ○ 稲 生 喜 美 明 △ 川 原 香 名 子 (防火管理者 笠原 典彦) (本部施設管理課) 岩 谷 卓 哉 佐 野 充 松 尾 直 弥 畔 柳 美 音 駒 水 涼 子 江 藤 洋 祐 鈴 木 玲 美 手 島 大 輔
		①防災訓練の開催 ②防災設備・意識の向上対応
安全衛生委員会 (労働安全衛生法 第19条)	第1火曜日 16:00~	◎ 稲 生 喜 美 明 ○ 佐 藤 典 子 △ 松 本 真 紀 阿 部 幸 洋 (産業医) 伊 藤 孝 (衛生管理者) 加藤 千佳子 (本部総務課) 三 浦 誠 門 内 恵 井 原 綾 那 日 吉 ゆ きの 藤 原 菜 美 子 竹 平 ゆ い な
		健康経営の実現(ステージⅡ:PDCAサイクルの実践) ①安全衛生管理活動 ②健康増進活動(スマートライフプロジェクト) ③感染症対策
リスクマネジメント委員会 (聖隷沼津第一クリニック 医療安全対策指針)	第2木曜日 16:00~	◎ 高 木 順 子 ○ 久 保 田 浩 之 △ 山 岸 薫 矢 部 雅 己 芹 澤 洋 輔 笠 原 典 彦 及 川 直 之 羽 切 政 仁 伊 藤 剛 稲 生 喜 美 明 渡 邊 雅 康 坪 内 秀 生 山 崎 洋 和 佐 藤 典 子 加 藤 千 佳 子
		①インシデントレポートの分析、対応 ②医療事故防止のための医療安全対策会議を含む ③プロセスアセスメントシートとの連動検討 ④医療に係わる安全管理のための研修2回/年実施
ISMS情報セキュリティ委員会 (ISO/IEC27001:2013 5.3)	第2木曜日 16:30~	◎ 笠原 典彦 ○ 羽 切 政 仁 △ 山 崎 洋 和 矢 部 雅 己 芹 澤 洋 輔 及 川 直 之 久 保 田 浩 之 伊 藤 剛 稲 生 喜 美 明 渡 邊 雅 康 高 木 順 子 坪 内 秀 生 山 岸 薫 佐 藤 典 子
		①ISMS情報セキュリティの運用の実施 ②ISMS関連・個人情報関連勉強会の実施
認定更新・年報委員会	第4火曜日 16:00~	◎ 伊 藤 剛 ○ 山 崎 洋 和 △ 宮 崎 美 菜 子 相 磯 真 理 子 湯 原 道 代 小 林 明 日 香 土 屋 明 香 阿 部 ル ミ 子 勝 亦 拓 也 田 沢 有 佳 里 渡 邊 智 恵 松 田 久 美 門 内 恵 齋 藤 友 里 恵 野 木 三 鈴
		①第三者機能評価認定及び精度管理の品質評価のチェック機制的活動を3ヶ月に1回チェックする ②第三者機能評価及びISMS等内部監査の実施 ③委員長は、認定施設実務責任者を兼務する。 ④年報の準備及び作成・管理
CS(利用者満足)・ ES(職員満足) 向上委員会	第1木曜日 16:00~	◎ 坪 内 秀 生 ○ 山 岸 薫 △ 山 崎 洋 和 △ 宮 崎 美 菜 子 須 床 和 恵 伊 藤 剛 渡 邊 雅 康 稲 生 喜 美 明 佐 藤 典 子 小 野 史 枝 三 浦 誠 上 原 省 三 秋 山 守 松 本 真 紀 川 原 香 名 子
		①利用者様満足度(CS)向上のためのアンケート調査の継続・改善 ②施設内・外の徹底的な接客対応を企画・実施 ③建物内外、車両等の美化活動(七夕飾り・クリスマス飾りなど) ④意見投書等に対する運用上の検討及び統計・分析・返答書の対応 ⑤各職場からの問題点に対する検討・対応 ⑥エコ活動推進対策
研修広報委員会	第3木曜日 16:00~	◎ 山 崎 洋 和 ○ 小 野 史 枝 △ 川 原 香 名 子 勝 亦 拓 也 伊 藤 大 貴 工 藤 愛 飯 坂 隆 志 岩 崎 愛 辻 村 裕 美 荒 井 春 香 松 本 芳 幸 黒 崎 唯
		①全体会の各職場の研修・勉強会の企画・実施(年間の予定作成・実施)勉強会等の出席管理 ②施設内外研修の対応 ③ホームページ・メディアの運用 ④掲示物等に関する運用・管理 ⑤健診センターのパンフレット等の内容検証
検査適正委員会	奇数月第2月曜日 16:30~	◎ 羽 切 政 仁 ○ 坪 内 秀 生 △ 井 原 綾 那 原 田 雅 子 笠 原 典 彦 及 川 直 之 伊 藤 剛 久 保 田 浩 之 稲 生 喜 美 明 渡 邊 雅 康 高 木 順 子 山 岸 薫 山 崎 洋 和
		①健診項目の基準値・判定基準等の管理および検討 ②精度管理実施報告
健診画像システム管理委員会	第2水曜日 16:00~	◎ 渡 邊 雅 康 ○ 山 崎 洋 和 △ 山 岸 薫 松 本 真 紀 小 野 史 枝 井 出 元 子 手 島 大 輔
		①現行の健診内画像系システムの管理 ②次期システムに関する画像系システムの構築
購入委員会	第4火曜日 15:00~	◎ 笠原 典彦 ○ 及 川 直之 ○ 近 藤 篤 史 △ 加 藤 美 希 白 木 通 彦
特定保健指導品質管理委員会	第2金曜日 16:00~	◎ 佐 藤 典 子 ○ 高 木 順 子 △ 伊 藤 剛 矢 田 香 澄 成 瀬 朋 香 田 沢 有 佳 里 渡 邊 麻 莉 子 福 島 健 太
		①特定保健指導サービスの品質管理に関する目標・計画・評価・その他の事項を審議する

※ 書記及び事務局は、会議又は委員会終了後1週間以内に事務課長まで議事録を提出すること  
 ※ 各委員会は、1時間以内で終了するよう運用すること  
 ※ 開催日時に関しては、各委員会ごと検討し変更のある場合には、各職場長及び事務長へ報告すること  
 ※ 年間の開催予定日を作成し議事に付けること  
 ※ 木曜日に開催予定の場合は、トヨタドックがあるので場所を庄司事務所2階食堂にて開催すること

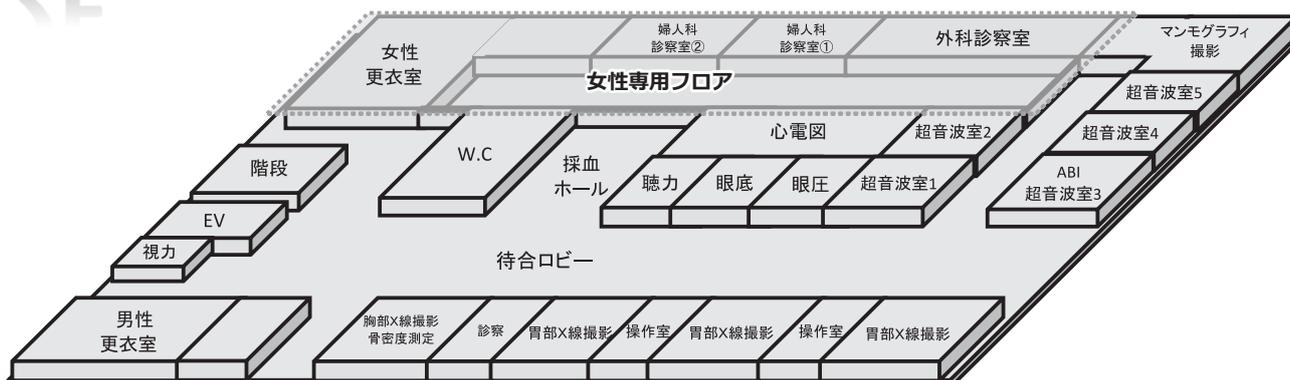
# フロアマップ

2022年12月1日現在

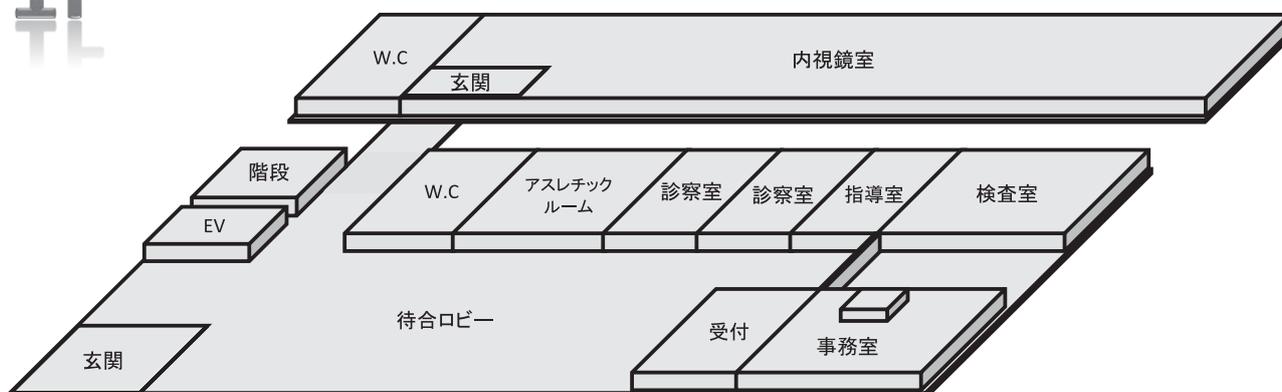
## 3F



## 2F



## 1F



# 機器精度管理・保守管理

## 施設内機器 (1)

機器・装置名	機種	保守・管理計画	担当者
胸部レントゲン X 線発生装置	Definium8000	始業前日常点検	〔部内担当者〕
		週 1 回の QAP 実施	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検	〔GE ヘルスケア〕
胃部レントゲン X 線 TV 透視装置	ESPACIO AVANT (2 台) E X A V I S T A	始業前日常点検	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検及びフラットパネルの精度管理実施	〔富士フィルムメディカル〕
レーザーイメージャー	DRYPRO MODEL793	自動キャリブレーションによる補正	〔コニカミノルタ〕
		年 1 回保守点検	
マンモグラフィ撮影装置	Senographe Pristina (2D)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検及びフラットパネルの精度管理	〔GE ヘルスケア〕
P A C S	Centricity PACS UV100 システム	リモートによる保守管理	〔GE ヘルスケア〕
レポートシステム	ProRadKRS	リモートによる保守管理	〔GE ヘルスケア〕
骨密度検査装置	ALPHYS A	自動キャリブレーションによる補正	〔富士フィルムメディカル〕
全自動尿分析装置	us-3500	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔栄研化学〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
尿中有形成成分分析装置	iQ200SPRINT	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検	〔富士レビオ〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
便潜血用全自動免疫化学分析装置	OC-PLIEDIA	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔栄研化学〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
生化学・免疫インテグレーション装置	Alinity c2i	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 2 回保守点検	〔アボットジャパン〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
多項目自動血球分析装置	X N -3100	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		定期メンテナンス	〔年 1 回保守点検 sysmex〕
全自動輸血検査装置	Auto Vue InnoVa II	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔オーソ〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
自動グリコヘモグロビン分析計	H L C -723 G 11	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔東ソー〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
全自動血液凝固分析装置	CN3000	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔積水メディカル〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
自動身長計付体組成計	TANITA DC-250	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔T A N I T A〕
		静岡県計量協会による検定	
自動採血管準備装置	BC・ROBO-8000RFID	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
心電図解析装置	CardioStar FCP8700	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔フクダ電子〕
オージオメータ	RION AA-79	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔R I O N〕
無散瞳眼底カメラ	canon CR-2 AF	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔c a n o n〕
超音波診断装置	HIVISION Preirus LOGIQ S7 Expert (2 台) LOGIQ S7 with XD clear 日立製作所ヘルスケア ARIETTA750	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
電子スパイロメーター	スプレット SP-390Rhino	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年 1 回保守点検	〔日本光電〕
動脈硬化検査装置	form BP-203RPEIII	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		定期メンテナンス	〔部内担当者〕
コンパクト視力計	CA-1000	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
眼圧計	ノンタクトメーター FT-01	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
定屈折近点計	D A C O M O	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕

## 施設内機器 (2)

機器・装置名	機種	保守・管理計画	担当者
自動体外式除細動器	HEARTSTART DEFIBRILLATOR PHILIPS	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
超音波診断装置 (乳房)	HIVISION Avius	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
超音波診断装置 (婦人科)	F-37	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
上部消化管ビデオスコープ	GIF-XP290N (経鼻用) GIF-1200N (経鼻用) GIF-PQ260 (経口用) GIF-H290 (経口用)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
下部消化管ビデオスコープ	PCF-H290ZI PCF-H290L PCF-H290I	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
内視鏡洗浄器	OER-5 (3台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
超音波洗浄器	BRANSON	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔EMERSON・協和〕
高音波手術装置	ESG-100	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
吸引器	KV-5 (2台) KV-6 (1台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
モニター	OEV261H (1台) OEV262H (2台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
システムセンター	CV-290 (3台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
光源装置	CLV-290SL (3台)	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		修理保守	〔オリンパス・協和〕
全自動血圧計	TM-2657VP	始業時点検	〔部内担当者〕

## 施設外機器

機器・装置名	機種	保守・管理計画	担当者
胸部検診車 1号車	RadnextCS	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部検診車 2号車	RadnextCS	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部検診車 3号車	RadnextCS	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部検診車 5号車	RadnextEX	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部X線デジタル撮影装置	CXDI-401G COMPACT (胸部検診車 1号車・3号車・5号車 胸部胃部 23号車)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
	CXDI-701G Wireless (胸部検診車 2号車)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部胃部併設検診車 21号車	DHM-153SX (胸部) TU-MA5plus (胃部)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部胃部併設検診車 22号車	DHM-153SX (胸部) TU-MA5plus (胃部)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
胸部胃部併設検診車 23号車	RadnextCS (胸部) ESPACIO (胃部)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
マンモグラフィ 58号車	Senographe Pristina Mabile (2D)	始業前日常点検	〔部内担当者〕
		年1回保守点検及びフラットパネルの精度管理	〔GEヘルスケア〕
心電図解析装置	Cardiostar FCP7411 CardioStar FCP7541 CardioStar FCP8600	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年1回保守点検	〔フクダ電子〕
オージオメータ	RION AA-56 RION AA-58	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		年1回保守点検	〔RION〕
無散瞳眼底カメラ	TRC-NW300	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
超音波診断装置	viamo	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
体重計	AD-6122	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		検定 (2年に1回)	〔静岡県計量協会〕
体脂肪・体重計	DC-320	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
		検定 (2年に1回)	〔静岡県計量協会〕
デジタル身長計	AD-6227	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕
コンパクト視力計	CA-1000 NS-1000	始業時・終業時点検	〔部内担当者〕

# 外部精度管理結果一覽

	精度管理名称	主催	評価			
5月	令和4年度静岡県臨床検査精度管理調査	静岡県臨床衛生検査技師会	良好			
6月	令和4年度日臨技精度管理調査	日本臨床検査技師会	項目・評価	A + B	C	D
			臨床化学	64	0	0
			免疫血清	18	0	0
			微生物	22	0	0
			血液	27	0	0
			細胞	20	0	0
			一般	20	0	0
			生理	24	0	3
			輸血	34	0	0
			病理	3	0	0
			計	214	0	3
10月	令和4年度日本医師会臨床検査精度管理調査	日本医師会	評価点数 = 616/625点			
1月	令和4年度全衛連胸部X線検査精度管理調査	全国労働衛生団体連合会	評価 A			
2月	令和4年度全衛連臨床検査精度管理調査	全国労働衛生団体連合会	総合評価 = A (点)			
3月	令和4年度全衛連胃X線検査精度管理調査	全国労働衛生団体連合会 日本消化器がん検診学会	総合評価 = A (点)			

# 研修・学会参加状況 (2022 年度)

	研修・学会名	部署	参加者
4月	第122回 日本外科学会定期学術集会	健診医務課	阿部 幸洋
	第122回 日本外科学会定期学術集会	健診医務課	竹下 公矢
5月	日本産業衛生学会	健診センター事務長	笠原 典彦
	健康運動指導士養成講習会	健診健康支援課	飯坂 隆志
7月	第67回 日本透析医学会総会	健診医務課	芹澤 洋輔
	第77回 日本消化器外科学会総会	健診医務課	竹下 公矢
	胃部 X 線検査 ON LINE 研修会	健診放射線課	佐野 充
	健康運動指導士養成講習会	健診健康支援課	飯坂 隆志
	臨床検査部門役職者研修	健診検査課	山岸 薫
	臨床検査部門役職者研修	健診検査課	川原 香名子
8月	第63回 日本人間ドック学会学術大会	健診健康支援課	高木 順子
	第63回 日本人間ドック学会学術大会	健診健康支援課	鈴木 珠美
	産業保健セミナー 「多様化する保健指導（リモート指導を考える）」	健診健康支援課	高木 順子
	胸部 X 線検査オンライン研修会	健診放射線課	松尾 直弥
	第63回 日本人間ドック学会学術大会	健診放射線課	坪内 秀生
	第63回 日本人間ドック学会学術大会	健診放射線課	松尾 直弥
	タスク・シフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会	健診検査課	井原 綾那
9月	第63回 人間ドック学会・ 第60回 人間ドック健診認定医・専門医研修会	健診医務課	阿部 幸洋
	第63回 人間ドック学会・ 第60回 人間ドック健診認定医・専門医研修会	健診医務課	芹澤 洋輔
	第1種衛生管理者免許試験受験準備講習会	健診放射線課	松尾 直弥
	第1種衛生管理者免許試験受験準備講習会	健診運営管理課	有貝 里菜
	第1種衛生管理者免許試験受験準備講習会	健診営業契約予約課	竹平 ゆいな
	第1種衛生管理者免許試験受験準備講習会	健診情報処理請求課	渡邊 翔
	第1種衛生管理者免許試験受験準備講習会	健診情報処理請求課	伊藤 大貴
10月	JDDW2022	健診医務課	竹下 公矢
	第93回 マンモグラフィ読影試験	健診医務課	阿部 幸洋
	第13回 全国健康増進協議会講演会	健診センター事務長	笠原 典彦
	特定保健指導 第4期検討会とその後の方向性を考える	健診健康支援課	湯原 道代
	特定保健指導 第4期検討会とその後の方向性を考える	健診健康支援課	飯坂 隆志
	第13回 全国健康増進協議会講演会	健診情報処理請求課	伊藤 大貴
	第13回 全国健康増進協議会講演会	健診情報処理請求課	町田 皓平

	研修・学会名	部署	参加者
11月	静岡県医師会産業医研修会	健診医務課	阿部 幸洋
	R4年度 安全運転管理者等講習会	健診運営管理課	三浦 誠
12月	第35回 日本内視鏡外科学会総会	健診医務課	竹下 公矢
	産業医研修会	健診医務課	芹澤 洋輔
	全国労働衛生団体連合会 特殊健康診断オンライン研修会	健診営業契約予約課	岩瀬 雅美
	全国労働衛生団体連合会 特殊健康診断オンライン研修会	健診営業契約予約課	竹平 ゆいな
1月	健診機関職員研修会（中級コース）	健診営業契約予約課	日吉 ゆきの
	生理機能検査 オンライン研修会	健診検査課	畔柳 美音
	生理機能検査 オンライン研修会 眼底検査	健診検査課	勝亦 遥
	タスク・シフト/シェアに関する厚労省指定講習会	健診検査課	斎藤 友里恵
	タスク・シフト/シェアに関する厚労省指定講習会	健診検査課	大橋 茉里奈
	タスク・シフト/シェアに関する厚労省指定講習会	健診検査課	畔柳 美音
	タスク・シフト/シェアに関する厚労省指定講習会	健診検査課	野木 三鈴
2月	全衛連ストレスチェック面接・相談対応研修会	健診医務課	阿部 幸洋
	第1回 大宮シティクリニック肺がん検診講習会	健診医務課	芹澤 洋輔
	第1回 大宮シティクリニック肺がん検診講習会	健診医務課	阿部 幸洋
	第1回 大宮シティクリニック肺がん検診講習会	健診医務課	尼子 良久
	第1回 大宮シティクリニック肺がん検診講習会	健診医務課	矢部 正己
	第74回 デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	健診放射線課	荒井 春香
	第74回 デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	健診放射線課	門内 恵
3月	第87回 日本循環器学会学術集会	健診医務課	原田 雅子
	日本人間ドック学会 地域交流セミナー In 大阪	健診センター事務長	笠原 典彦
	日本人間ドック学会 地域交流セミナー In 大阪	健診情報処理請求課	町田 皓平
	第1種衛生管理者免許試験受験準備講習会	健診情報処理請求課	井上 莉奈
	第1種衛生管理者免許試験受験準備講習会	健診営業契約予約課	駒水 涼子
	第41回 東海超音波研修会	健診検査課	井原 綾那

# 第 63 回 日本人間ドック学会学術大会発表抄録

## ●改正個人情報保護法等に対する ISO 27701 固有管理策による P H R 情報管理適合性の検討

○笠原 典彦 及川 直之 羽切 政仁 久保田 浩之 伊藤 剛  
稲生 喜美明 渡邊 雅康

### 【目的】

欧州では 2018 年に一般保護データ規則（G D P R）が導入されたことでデータ保護に大きな影響が与えられた。我が国でも 2022 年 4 月に施行された「改正個人情報保護法」では、要配慮個人情報に関する取扱いが強化された。保健事業においては、総務省、厚生労働省、経済産業省「民間 P H R 事業者による健診等情報の取扱いに関する基本的指針」では、健診等情報を取扱う事業者による P H R の適正な取扱いが求められている。そのためには、情報の取扱い、安全対策を適切に運用する仕組みが必要不可欠となる。P H R を適切に運用できる仕組みとして実装可能であるかを ISO / I E C 2 7 7 0 1（P I M S：プライバシー情報マネジメントシステム）の固有管理策が改正個人情報保護法等に対する適合性の検討を行う。

### 【方法】

「改正個人情報保護法」及び「民間 P H R 事業者による健診等情報の取扱いに関する基本的指針」に対して、ISO / I E C 2 7 7 0 1（P I M S：プライバシー情報マネジメントシステム）の固有管理策が適合しているかどうかを比較し、仕組みとして実装可能であるかの検討を行う。

### 【結果】

「改正個人情報保護法」及び「民間 P H R 事業者による健診等情報の取扱いに関する基本的指針」に対して、ISO / I E C 2 7 7 0 1（P I M S：プライバシー情報マネジメントシステム）の固有管理策は、適合し、実装可能であった。当センターで認証済みの ISO / I E C 2 7 0 0 1（I S M S）に加えて、ISO / I E C 2 7 7 0 1（P I M S）の認証取得を行うことで、仕組みとして P H R の適正な取扱いが可能になる。

### 【考察】

保健事業の質は、健診の質と情報管理の質を両立しなければ維持できないものとする。法律や指針等の改正による対応を個別のものとしてとらえず、健診等情報を取扱う事業者として P H R の適正な取扱いを仕組みとして組織に実装していくことが、顧客からの信頼に繋がっていくと考える。今後も保健事業の質を高めるべき努力していく。

## ●上部消化管造影検査後の消化管穿孔死亡症例から学ぶ下剤服薬説明の重要性

○坪内 秀生 松尾 直弥 山崎 洋和 小久保 恵美 久保田 光博  
塩谷 清司 早川 秀幸

### 【はじめに】

バリウムによる上部消化管造影検査は、健康診断の 1 つとして日常的に施行されているが、検査後の大腸穿孔は非常に稀である。検査後に大腸穿孔で死亡した症例を文献的報告と比較し述べる。

### 【症例概要】

50 歳代女性。死亡 3 日前に健診で上部消化管造影検査を受診。検査後、下剤を内服してもバリウムは排出されず、腹部膨満感を訴えていた。死亡前日、朝から腹痛を訴え、近医を受診し下剤の処方を受けたが内服は未確認。死亡当日午前 3 時頃、死亡した状態で発見。検視時の A i ではバリウムの腹腔内流出を示した為、承諾解剖された。

### 【A i 所見】

腹腔内遊離ガスと腹腔内のバリウム貯留は消化管穿孔を示唆した。消化管内バリウムは S 状結腸付近までであったが、S 状結腸のバリウム貯留が多く、その強いアーチファクトで穿孔部分は同定できなかった。

### 【解剖所見】

下行結腸下端に長径 2 cm 大の穿孔部位を認めたが、先行病変として大腸癌や憩室炎などは認めなかった。腹腔内にはバリウムと便汁が混濁した少量の腹水と骨盤内にはバリウム塊を認めた。

### 【考察】

消化管造影検査後の大腸穿孔の頻度は 1 0 1 万 3 千例中 3 例と報告され、平均発症年齢 6 9 歳で女性に多い。穿孔部位は S 状結腸が最も多く、次に下行結腸、直腸と続き、バリウム停滞による穿孔機序はバリウム硬便の通過と蠕動亢進による腸管内圧上昇により腸管壁へ負担がかかり穿孔するものと、過度の進展による腸管壁の菲薄化と循環不全により穿孔するものが報告されており本症例はそれらの両者が関与していたと考える。

### 【結語】

高齢化社会に伴い受診者の高齢化も進む中で、便秘傾向の受診者の検査も行う機会が多くなると予想される。大腸穿孔の可能性も高くなることから、本症例のような事を繰り返さない為にも、検査後の下剤の内服の徹底、排便遅延、腹痛などの症状出現時の注意について受診者に十分な指示を行った上で症状出現時には迅速に対処する必要がある。

## ●上部消化管内視鏡検査問診時の介入による受診者の不安軽減の検討

○鈴木 玲美      千頭和  いづみ      宮崎  美菜      岩田  智美      小野  史枝  
加藤  千佳子      佐藤  典子      高木  順子

### 【目的】

上部消化管内視鏡検査受診者の不安の実態を把握し問診時の関わりによって不安が軽減されるかを明らかにしたいと考えた。

### 【方法】

受診者607名に自記式無記名質問紙を用いて不安の有無や内容を調査した。現状の問診を実施する群319名(以下非介入群)と問診時に「不安あり」と回答した受診者の不安に助言など介入する群288名(以下介入群)に分け不安が軽減するか比較検討した。

### 【結果】

不安を有する者の割合は全体で199名(32.8%)、初回者49名(84.5%)、経験者150名(27.3%)だった。不安の内容としては、検査前の不安で初回者は「これからどのようなことが行われるかわからないという不安」と会とした者が最も多く41名(83.7%)、経験者は「前回経験した苦しさ・つらさを本日も経験するかもしれないという不安」と回答した者が最も多く117名(78.0%)だった。検査中の不安は「検査中えづきがでるかもしれないという不安」と回答した者が初回者26名(53.1%)、経験者74名(49.3%)と共に多かった。検査後の不安は「検査結果に対する不安」と回答した者が初回者19名(38.8%)、経験者34名(22.7%)と共に多かった。不安を有する者を介入状況で分けると非介入群105名(32.9%)、介入群94名(32.6%)だった。実施後に不安が軽減したと回答した者は非介入群101名(96.2%)、介入群94名(100%)だった。不安が軽減した理由として不安に対する声かけとその対応が非介入群29名(27.6%)、介入群54名(57.4%)で最も差がみられた。

### 【考察及び結論】

問診時に受診者の不安を把握し介入することで検査時の不安が軽減できると考える。問診時の介入内容としては経験の有無により対応を柔軟に変えること、苦痛緩和の為の動作ポイントを伝えること、医師から結果説明があり質問が可能な事を説明する必要があると考える。今後は不安内容を把握できる問診票を作成し問診時に不安への適切な対応をする必要があると考える。

# 健康増進講演メニュー

	テーマ	内容
生活習慣病関連	生活習慣病改善について	生活習慣病予防のために必要なことをポイントをもってお話します
	メタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームの発生メカニズムと予防について
	骨粗しょう症の予防について	骨粗しょう症についてと予防方法について提案します
	禁煙にチャレンジしてみませんか	たばこの害について説明し、楽に禁煙できる方法を説明します
	動脈硬化の予防	動脈硬化の進み方、予防する為の生活習慣について解説します
	健診結果の活かし方	健診結果から 各検査項目の意義と生活改善について解説します
運動関連	手軽にできるストレッチ	自宅で職場でバス・電車の中で、いつでもどこでも簡単にできるストレッチの紹介
	腰痛・肩こり解消講座	肩こり・腰痛のメカニズムを知り、解消の為の方法を実践します
	職場でできる運動	仕事の合間のちょっとしたすき間時間にできる運動の紹介
	チェアーエクササイズ	膝・足に負担をかけずにイスに座って楽しく運動し、筋力アップにつなげます
	簡単な運動とストレッチ	年配の方向けの運動を安全に楽しく行ないます
	適度な運動の大切さ	気軽にできる運動の大切さを学びます
	自分にあったウォーキング	音楽に合わせて歩き、自分のペースを覚えましょう
	ダンベル体操	ダンベルを使った気軽にできる体操
	脂肪燃焼ウォーキング	脂肪が燃焼できる強度のウォーキングペースを覚えましょう
	太極拳を取り入れた運動	高齢者でも取り組みやすい太極拳の動きを取り入れ、体幹部や足腰を鍛える運動
栄養関連	生活習慣病予防のための食事について	1日の適正な食事量について6つの基礎食品群の表を利用して
	生活習慣病予防のための食事について	1日の適正な食事量について食事バランスガイドを利用して
	生活習慣病予防のための食事について (糖尿病)	糖尿病を予防する食事について
	生活習慣病予防のための食事について (脂質異常症)	脂質異常症を予防する食事について
	生活習慣病予防のための食事について (脂肪肝)	食事の傾向を把握し、脂肪肝にならないための食事紹介
	生活習慣病予防のための食事について (肥満)	肥満を予防する食事について
	生活習慣病予防のための食事について (高血圧)	高血圧を予防する食事について
	生活習慣病予防のための食事について (高尿酸血症)	高尿酸血症を予防する食事について
	ご家族の食生活について	生活習慣病予防の為の食事について 各年代の食事のポイントをお話します
	あなたの食事は大丈夫?	自分の食生活を振り返り、望ましい食事のあり方を学びます
	メタボリックシンドロームの予防・解消	メタボリックシンドロームの発生メカニズムと食事を中心とした予防についてお話します
	メンタルヘルス・関連	メンタルヘルスの基礎知識
うつ病について		うつ病のメカニズム・予防を説明、またうつ病の方への接し方を学びます
リラクゼーション ～呼吸法・筋弛緩法～		なかなかリラックスできない自分を発見し、呼吸法・筋弛緩法を体験してもらいます
コミュニケーションスキル ～交流分析～		自分自身の行動パターン・性格傾向を把握してみましょ
休養と睡眠について		休養の必要性についてお話します
その他	ボケ予防のための頭の体操	日常生活に簡単に取り入れられる 脳の活性化する体操を実践します

# 2022 年度を振り返って

2022 年度も皆様方のおかげで「事業年報」を発刊することができました。

2022 年度は、中長期計画の2年目にあたり、コロナ禍での環境の変化に適応した経営構造の構築と経営の安定化のための仕組みの再点検を行う年になるはずだったが、新健診システムの稼働不良により結果処理の大幅遅延という顧客の皆様にご迷惑をお掛けするスタートとなり経営危機に見舞われました。そのため、センター全体で業務の再構築を行い、この経営危機に対応し、早期に通常通りの経営状態へ復帰させることができました。コロナ禍と結果大幅遅延の危機を乗り越えたことで、顧客の皆様との信頼関係が更に強まった年でありました。経営危機の回避にすべての機能能力を費やさなければならぬ中、医業収益での予算達成はかなり厳しいものでした。しかしながら当期純利益で、予算を上回ることができました。これも信頼関係を培ってきた健保・企業・地域の皆様の心強い後押しと職員の周知の結集が掴み取った成果と確信しています。

健康経営優良法人制度では、『ホワイト 500 2023』を認定取得し、2017 年から連続で 500 位内を維持し、『スポーツエールカンパニー 2023 ブロンズ』を認定取得し「健康経営ブランディング戦略」でのフラッグシップを示すことができました。情報管理の保護と利活用においても、『ISMS-PIMS』を医療保健業界では国内初となる認証取得することができました。地域・企業・健保の皆様にご「健康経営の推進」と「健診の質」を提供し、付加価値を高めていく健康経営ブランディング戦略を推し進め、「健康経営のパートナー」として誰もが長く活躍できる社会へと貢献してまいります。

各団体様・各事業所様及び地域の皆様方のご協力により、受診者件数も約 14 万件の実績となり、皆様方に深く感謝いたしております。

今後も、ご利用者様のご要望にお応えできる体制を作り、健診の精度及びサービスの向上に職員一同努めて参りたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

聖隷沼津健康診断センター  
事務長 笠原 典彦

**2022 年度**  
**聖隷沼津健康診断センター 事業年報**  
**第 16 号**

発行 2024 年 3 月

〒 410-8580 静岡県沼津市本字下一丁田 895-1

TEL 055 (962) 9882 FAX 055 (952) 1019

ホームページ <http://www.seirei.or.jp/numazu-kenshin/>

発 行 者	矢部 雅己
編集責任	認定更新・年報委員会
印 刷	東邦印刷包装株式会社

添付 CD には 2022 年度各健診別集計が入っておりますので、ご参照ください。

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」  
聖書の教え「隣人愛」が私たちの精神です



---

**The Fuyo Foundation SEIREI NUMAZU**  
**Health Evaluation And Promotion Center**

---

**Love your neighbor as yourself.**

